



ここは、市川にある「ジャングル」だ。

平成5年に開園した観賞植物園は、220種の熱帯植物と約150のサボテンなどが植えられた本格的な植物園でありながら、市内で気軽に立ち寄れる施設です。ハイビスカスやヒスイカズラ、ランなどの花や食虫植物など珍しい植物、バナナやパイナップルなどの果

物もあり、大温室の中では、まさに熱帯の気分が味わえます。また、観賞植物園周辺は、「大町レクリエーションゾーン」として整備され、動物園のほか、市川の中でも自然の醍醐味を体感できる長田谷津(ながたやづ)などで、様々に楽しめる場所となっています。

観賞植物園



日 開園時間：午前9時30分～午後4時30分
(入園は午後4時まで) 休園日は月曜日(祝日の場合は翌日)

場 大町284

¥ 無料(動物園の入場は有料です。)

問 ☎338-1960 動植物園

北総線大町駅から徒歩15分

JR本八幡駅北口から 京成バス

- ・動植物園行き 終点下車(土・日曜日、祝日のみ)
- ・市川営業所行き 大野町4丁目下車 徒歩20分
- ・大町駅行き 駒形下車 徒歩20分
(大町駅經由市川営業所行きを含む)

JR市川大野駅から

●コミュニティバス

- ・市川大野→動植物園
9時36分、12時00分、14時24分
- ・動植物園→市川大野
10時01分、12時25分、14時49分、17時23分

●京成バス

- ・動植物園行き 終点下車(土・日曜日、祝日のみ)
- ・市川営業所行き 大野町4丁目下車 徒歩20分
- ・大町駅行き 駒形下車 徒歩20分
(大町駅經由市川営業所行きを含む)



▲きれいな花をつけるハイビスカス

動物園も大人気

昨年開園25周年を迎えた動物園では、テレビに、雑誌、インターネットや口コミで大人気となった「流しかわうソ」をはじめ、リラックマを抱いたニホンザルとして有名になった「オトメ」も出産し、子どもの名前が「ヤエ」に決まり、話題に事欠かない動物園も観賞植物園から歩いて10分です。どちらも見どころいっぱいです。



▲「流しかわうソ」で全国的に人気のコツメカワウソ



▲ヤエとオトメ(ニホンザル)



▲とぼけた顔がかわいいミーアキャット



▲3歳になったオランウータンのリリー



▲開園20周年のイベント「トンボと水辺の生き物を見よう」で長田谷津でトンボの生態について学ぶ参加者



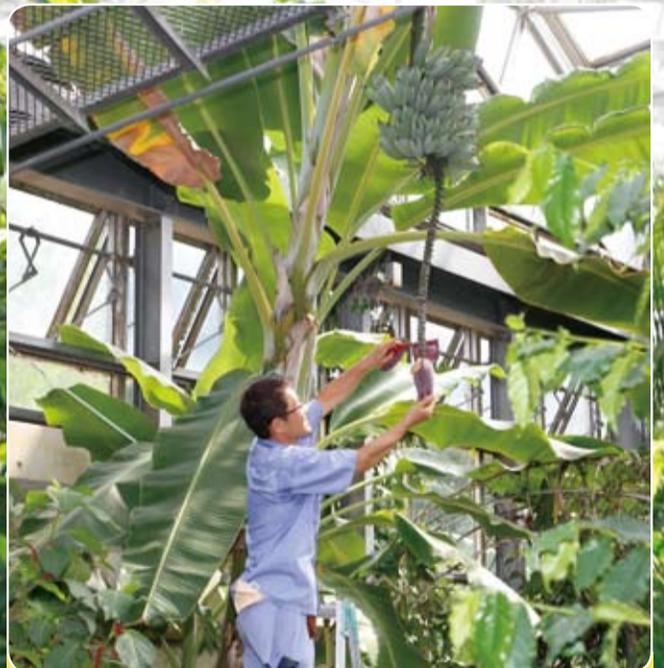
▲花をつけるサボテン「ハクジュマル」



▲冬には赤く色づくコーヒーの実



▲実をつけ始めたパイナップル



▲バナナについて説明する大下聖一 業務主査

「観賞植物園も開園20周年を迎え、開園時に植栽したヤシなどは温室の天井に届くほど大きく成長しました。この度、大温室にはミラクルフルーツ、ミズレンブ、サボテン温室にはドラゴンフルーツなど新しい植物も加わり、より一層、市民のみなさまに楽しんでいただける植物園を目指しています。ぜひ、観賞植物園に足をお運びください。」

観賞植物園

開園 20 周年

記念式典

今年で開園20周年を迎える観賞植物園。
記念式典、記念植樹を行います。

日 10月13日 日

午後1時～1時30分

場 観賞植物園